

ネコヤマヒゴタイ	<i>Saussurea modesta</i> Kitam.	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 II 類)		キク科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が少ない。	写真(国立科学博物館) 標本 
形態の特徴	茎は高さ40-60cm。根出葉は線状披針形、開花時にも存在する。茎葉は線状披針形で長さ15-25cm、基部は茎に沿下する。頭花は少数が散房状に密につき、小花は筒状花のみ。総苞は筒形で、長さ約1cm、幅6-8mm、紫褐色。小花は淡紫色。	
生態的特徴	湿原や湿った草原に生育する。花期は8-10月。	
分布状況	本州の関東地方以西に分布する。岐阜県では県北、県東に見られる。	
減少要因	開発による生育地の破壊。	
保全対策	湿原や草原の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘